

経済学研究科履修要項

I. 経済学研究科 授業科目・単位

(博士前期課程)

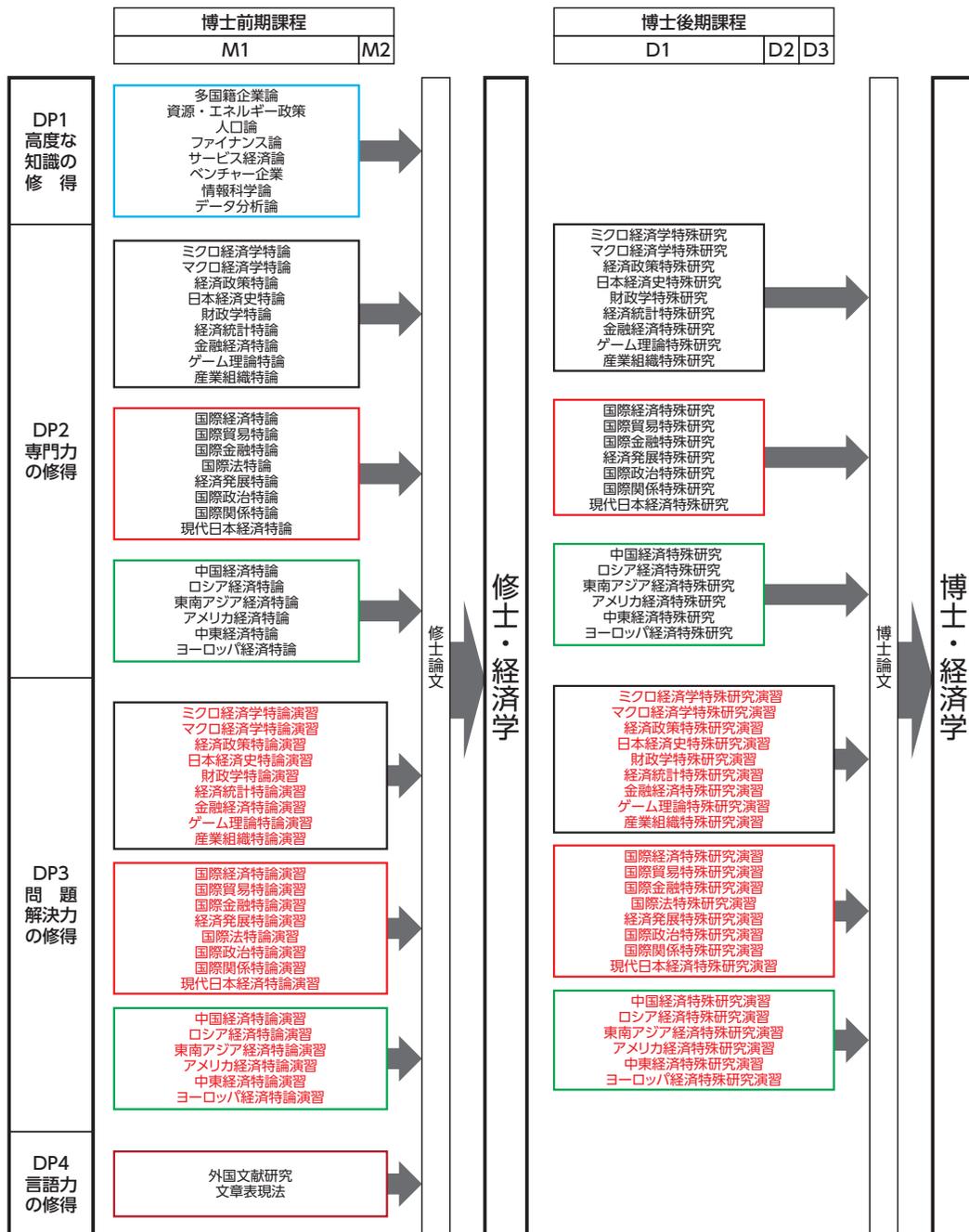
系 列	学 科 目	単 位	学 科 目	単 位	
経 済 学	ミクロ経済学特論	4	4	財政学特論演習	(4) (4) 8
	ミクロ経済学特論演習	(4) (4)	8	経済統計特論	4 4
	マクロ経済学特論	4	4	経済統計特論演習	(4) (4) 8
	マクロ経済学特論演習	(4) (4)	8	金融経済特論	4 4
	経済政策特論	4	4	金融経済特論演習	(4) (4) 8
	経済政策特論演習	(4) (4)	8	ゲーム理論特論	4 4
	日本経済史特論	4	4	ゲーム理論特論演習	(4) (4) 8
	日本経済史特論演習	(4) (4)	8	産業組織特論	4 4
	財政学特論	4	4	産業組織特論演習	(4) (4) 8
国 際 政治経済	国際経済特論	4	4	経済発展特論	4 4
	国際経済特論演習	(4) (4)	8	経済発展特論演習	(4) (4) 8
	国際貿易特論	4	4	国際政治特論	4 4
	国際貿易特論演習	(4) (4)	8	国際政治特論演習	(4) (4) 8
	国際金融特論	4	4	国際関係特論	4 4
	国際金融特論演習	(4) (4)	8	国際関係特論演習	(4) (4) 8
国 際 政治経済	国際法特論	4	4	現代日本経済特論	4 8
	国際法特論演習	(4) (4)	8	現代日本経済特論演習	(4) (4) 8
地 域 経 済	中国経済特論	4	4	アメリカ経済特論	4 4
	中国経済特論演習	(4) (4)	8	アメリカ経済特論演習	(4) (4) 8
	ロシア経済特論	4	4	中東経済特論	4 4
	ロシア経済特論演習	(4) (4)	8	中東経済特論演習	(4) (4) 8
	東南アジア経済特論	4	4	ヨーロッパ経済特論	4 4
	東南アジア経済特論演習	(4) (4)	8	ヨーロッパ経済特論演習	(4) (4) 8
実	多国籍企業論	2	2	サービス経済論	2 2
	資源・エネルギー政策	2	2	ベンチャー企業	2 2
	人口論	2	2	情報科学論	2 2
	ファイナンス論	2	2	データ分析論	2 2
外 国 語	外国文献研究	4	4	文章表現法	4 4

(博士後期課程)

系 列	学 科 目	単 位	学 科 目	単 位	
経 済 学	ミクロ経済学特殊研究	4	4	財政学特殊研究演習	(4) (4) (4) 12
	ミクロ経済学特殊研究演習	(4) (4) (4) 12		経済統計特殊研究	4 4
	マクロ経済学特殊研究	4	4	経済統計特殊研究演習	(4) (4) (4) 12
	マクロ経済学特殊研究演習	(4) (4) (4) 12		金融経済特殊研究	4 4
	経済政策特殊研究	4	4	金融経済特殊研究演習	(4) (4) (4) 12
	経済政策特殊研究演習	(4) (4) (4) 12		ゲーム理論特殊研究	4 4
	日本経済史特殊研究	4	4	ゲーム理論特殊研究演習	(4) (4) (4) 12
	日本経済史特殊研究演習	(4) (4) (4) 12		産業組織特殊研究	4 4
	財政学特殊研究	4	4	産業組織特殊研究演習	(4) (4) (4) 12
国 際 政治経済	国際経済特殊研究	4	4	経済発展特殊研究演習	(4) (4) (4) 12
	国際経済特殊研究演習	(4) (4) (4) 12		国際政治特殊研究	4 4
	国際貿易特殊研究	4	4	国際政治特殊研究演習	(4) (4) (4) 12
	国際貿易特殊研究演習	(4) (4) (4) 12		国際関係特殊研究	4 4
	国際金融特殊研究	4	4	国際関係特殊研究演習	(4) (4) (4) 12
	国際金融特殊研究演習	(4) (4) (4) 12		現代日本経済特殊研究	4 4
	経済発展特殊研究	4	4	現代日本経済特殊研究演習	(4) (4) (4) 12
地域経済	中国経済特殊研究	4	4	アメリカ経済特殊研究	4 4
	中国経済特殊研究演習	(4) (4) (4) 12		アメリカ経済特殊研究演習	(4) (4) (4) 12
	ロシア経済特殊研究	4	4	中東経済特殊研究	4 4
	ロシア経済特殊研究演習	(4) (4) (4) 12		中東経済特殊研究演習	(4) (4) (4) 12
	東南アジア経済特殊研究	4	4	ヨーロッパ経済特殊研究	4 4
	東南アジア経済特殊研究演習	(4) (4) (4) 12		ヨーロッパ経済特殊研究演習	(4) (4) (4) 12

カリキュラム・ツリー（履修系統図）

カリキュラム・ツリーは、カリキュラム・マップの「授業科目とDP（到達目標）との対応関係」に基づき、授業科目間のつながりや履修の段階・順序を表すものです。



※凡例 黒色枠：経済学 赤色枠：国際政治経済 緑色枠：地域経済 青色枠：実務 茶色枠：外国語（博士前期課程のみ）
 朱書き文字：必修（指導教員の演習科目）

経済学研究科における学位論文について

I. 学位取得までの指導スケジュール

博士前期指導要領

1. 趣旨

2年間の正規の修業年限内に学位論文を提出し、論文審査に合格し、修士の学位を取得できる研究指導体制を以下のように整える。

- (1) 論文指導は、指導教授が行う。指導教授は1年次に研究指導計画書を作成して、2年間で学位論文が完成するよう指導体制を構築する。
- (2) 所定の単位修得、2年次前期終了直前の学位論文中間発表、修業年限内での論文作成が支障なく進行するよう指導教授が助言と指導を行う。

1 1年次

1. 指導教授は1年次のはじめに院生と相談して履修科目の選定を行う。
履修科目の選定にあたっては学位論文に修練するよう助言する
2. 次に指導教授は、研究指導計画書を作成し、学位論文作成に至る綿密かつ実現可能性を考慮した指導を行う。
3. 専修科目を含む所定単位の修得は、可能な限り1年次に習得するよう助言し、2年次は、学位論文の作成に集中するよう指導する。

時期	指導内容
4月	・ 新入生ガイダンス ・ 研究指導計画の提出 ・ 授業開始 ・ 研究指導計画に基づく指導開始 ・ 履修登録
5月	・ 履修取消
7月	・ 修士論文 中間発表会への傍聴参加
12月	・ 博士論文 中間発表会への傍聴参加

2 2年次

1. 指導教授は、研究指導計画書に基づいて、2年次前期終了直前（毎年7月）に実施する学位論文中間発表に向けて準備するように指導する。
2. 中間発表での成果（質疑応答、疑問点払拭など）を踏まえて、学位論文の内容を再度精査、修正し、提出期日までに論文が完成するよう指導する。
3. なお、研究指導計画は、適宜に見直す。

時期	指導内容
4月	・ 研究指導計画の提出 ・ 授業開始 ・ 研究指導計画に基づく指導開始 ・ 履修登録
5月	・ 履修取消
7月	・ 修士論文 中間発表会
9月	・ 「経済学研究」申込期限
12月	・ 博士論文 中間発表会への傍聴参加 ・ 「経済学研究」論文提出期限 ・ 修士論文 学務課（大学院）提出

1月	・修士論文 口頭試問
2月	・研究科委員会 修了者の決定
3月	・学位（修士）授与

博士後期課程研究指導要領

1. 趣旨

3年間の正規の修業年限内に学位論文を提出し、論文審査に合格し、博士の学位を取得できる研究指導体制を以下のように整える。

- (1) 論文指導は、指導教授が行う。指導教授は1年次に研究指導計画書を作成して、3年間で博士論文が完成するよう指導体制を構築する。
- (2) 所定の単位取得、研究発表（毎年10月）、経済学研究科紀要投稿、外国語検定試験合格（1カ国）等の博士論文申請要件を早期に達成できるよう指導教授が助言と指導を行う。

1 1年次

- (1) 指導教授は、1年次のはじめに院生と相談して研究指導計画書を作成し、博士論文作成に至る綿密かつ実現可能性を考慮した指導を行う。
- (2) 1年次に紀要投稿、研究発表、外国語検定、所定単位の所得等の博士論文要件を満たすよう助言し、紀要への投稿論文が博士論文に帰結するよう指導する。

時 期	指 導 内 容
4月	・新入生ガイダンス ・研究指導計画の提出 ・授業開始 ・研究指導計画に基づく指導開始 ・履修登録
5月	・履修取消
7月	・修士論文 中間発表会への傍聴参加
9月	・「経済学研究」申込期限
10月	・外国語検定試験
12月	・博士論文 中間発表会 ・「経済学研究」論文提出期限

2 2年次

- (1) 2年次においても紀要投稿、研究発表を持続的、積極的に行うよう助言する。
- (2) 研究発表での成果（質疑応答、疑問点払拭など）を踏まえて、博士論文の内容をさらに進化させるよう指導する
- (3) 1年次、2年次を通じて断続的に文献および資料収集に精力的に努めるよう助言し、博士論文の作成に支障が無いよう指導する。

時 期	指 導 内 容
4月	・研究指導計画の提出 ・授業開始 ・研究指導計画に基づく指導開始 ・履修登録
5月	・履修取消
7月	・修士論文 中間発表会への傍聴参加
9月	・「経済学研究」申込期限
12月	・博士論文 中間発表会 ・「経済学研究」論文提出期限

3 3年次

- (1) 博士論文の完成に向けて指導を継続する。
- (2) 博士論文が完成し、指導教授がこれを継承した時点で、研究科委員会に博士論文受理審査委員会の設置を申請する。
- (3) 指導教授は、博士論文受理審査委員会の指摘事項を十分考慮して、学位論文提出期限までに学位論文の加筆修正について、助言と指導を行う。

時 期	指 導 内 容
4 月	・ 研究指導計画の提出 ・ 授業開始 ・ 研究指導計画に基づく指導開始 ・ 履修登録 ・ 学生の申請に基づき論文審査委員会組成
5 月	・ 履修取消
12月	・ 博士論文 発表会、審査委員会
2 月	・ 研究科委員会 修了者の決定
3 月	・ 学位（博士）授与

(注) このスケジュールは、あくまでも標準的に進んだケースである。